

お取引様各位

## GTL 燃料の使用開始について

むさし野紙業株式会社

弊社は、2021年7月より川越営業所において環境負荷の少ないクリーンな天然ガス由来の軽油代替燃料であるGTL<sup>※1</sup>燃料の使用を開始しました。

GTL燃料は天然ガス由来の軽油代替燃料で、国内では伊藤忠エネクス(株)(本社：東京都千代田区)が輸入販売しており、国土交通省「新技術情報提供システム『NETIS<sup>※2</sup>』」に登録されています。この燃料は軽油と比較してCO<sub>2</sub>排出量を約8.5%削減することができます。他、煤が少ない等、様々な利点を有する次世代の環境配慮型燃料であり、オフロード車両<sup>※3</sup>において使用することができます。

### GTL 燃料の特性

---

- 軽油よりCO<sub>2</sub>排出量が8.5%低い (GTL CO<sub>2</sub>排出係数 2.36kg-CO<sub>2</sub>/L)
- ドロップイン燃料 (既存のディーゼルエンジンに使用可能)
- 引火点70℃以上のため、第3石油類 (指定数量2klまで可能)
- 軽油よりセタン価が高い (JIS軽油45以上に対し、GTL82.3)
- 優れた低温性能 (寒冷地用3号経由水準、流動点▲40℃)
- 貯蔵安定性 (軽油と比較し4年間状態変化なし)
- 煤が少ない (無臭)
- 無毒性 (生分解性)
- 硫黄分・芳香族分を事実上ほとんど含んでいない

弊社ではエコアクション 21 への取り組みとして環境に配慮した設備や重機、車両への切り替えを順次実施しており、その一環として GTL 燃料の使用を開始することにしました。また、事業活動における CO<sub>2</sub> 排出量の削減を目標に設定しており、その目標達成を通じて脱炭素社会の実現へ貢献していきます。尚、弊社の CO<sub>2</sub> 排出量の 60%程度は軽油の使用によるものであるため、GTL 燃料の活用は CO<sub>2</sub> 排出量削減に効果を発揮し、燃料には対応機種制限もなく、煤が少ないといった効果（NO<sub>x</sub><窒素酸化物>、PM<煤煙や粉塵などの粒子状物質>を削減出来る環境負荷低減）があるため、作業者の身体への負担軽減にもつながります。

今後は他の営業所へも展開をしていき当社から排出される CO<sub>2</sub> 排出量の削減を目指していきます。

※1：GTL は Gas to Liquid（ガストウーリキッド）の略。

※2：New Technology Information System の略称。国土交通省により、新技術に関する情報の共有および提供を目的として運用されているデータベース。

※3：一般道路を走行しない建設機械、重機、フォークリフト等の車両。

